

こもれび

R. 3 9月号

宇和島東高校津島分校 総務課

8・9月行事予定

8/30	月	体育祭全体練習(1~4限) 体育祭団準備(5・6限)	15	水	
31	火	体育祭全体練習(1~4限) 体育祭団準備(5・6限) 身だしなみ再指導締切	16	木	就職選考開始 第2回人権・同和教育ホームルーム活動
9/1	水	体育祭総練習	17	金	交通安全登校指導
2	木	体育祭全体練習(1~4限) 体育祭団準備(5・6限)	18	土	
3	金	体育祭前日準備(1~4限) 体育祭団準備(5~6限)	19	日	
4	土	体育祭	20	月	敬老の日
5	日	体育祭予備日	21	火	人権デー⑤
6	月	繰替休日	22	水	漢字テスト⑦
7	火	面接週間 45分授業(~13日) 就職指導③(~15日) 校納金口座振替日	23	木	秋分の日
8	水	漢字テスト⑥	24	金	全校集会 家庭学習時間調査(~10/11)
9	木		25	土	
10	金		26	日	全商情報処理検定
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月		29	水	
14	火		30	木	中間考査発表 生徒会役員立会演説会・選挙(主権者・消費者教育啓発講座)(6限)

令和3年度 体育祭は 9月4日 の予定です！（無観客開催）

来週から本格的に練習・準備が始まります。感染症・熱中症対策をしっかりとしていきましょう！
マスク・体操服・帽子それから水分を忘れないようにお願いします。荒獅子・飛龍の責任者を紹介します。

団名	荒獅子	飛龍
団カラー	赤	青
団長	清 家 一 陽	藤 堂 天 翔
副団長	杉 垣 結 菜	岡 本 侑 花
ガイヤ	河 野 良 夢	細 川 空 人
バック	神 尾 英 幸	栗 本 晴 奈
会計	斧 叶 磨	梶 原 理 希
教員責任者	池 田 比 呂 己	宮 崎 孫 司

体育祭テーマ「スタートライン 新たな歴史が ここから始まる」（3-1 梶原 理希）

※文化祭合同テーマ

Pas à pas(パ・ザ・パ)の精神で…

1年学年主任 成田千景

フランス語で一步一步という言葉『pas à pas(パ・ザ・パ)』。その言葉通り今年4月、新入生たちの高校生活は始まりました。今年度から宇和島東高等学校津島分校となった本校で1年生は様々な「初めて」に意欲的に取り組み、少しでも早く高校生活に慣れようと努力しています。

特に新型コロナウイルス感染症との闘いが2年目となった今年度は、生徒一人一人の学びを保障するために、家庭でIT機器を活用して学習に取り組むための学びが始まりました。4月から、生徒はそれぞれ県から貸与されたパソコンでその操作を学び、授業で、そして家庭でとその技術を身に付けています。中にはもうすでにパソコンを十分に使いこなしている生徒もいれば、あまりよくわからないといった生徒まで、その熟練度は様々ですが、それぞれが学んだことを生かして、パソコンでリモートによる進路説明会に参加する、授業の中で調べ学習を行う、そして、クラウド上への教科の課題提出など、その上達ぶりには目を見張るものがあります。

7月には宇和島東高校の伝統行事であるボートレース大会が久しぶりに開催されることとなり、生徒たちは、この大会に初めて分校生として参加しました。全校生徒71名の津島だからこそできることかもしれませんが、1年生も選手として大会に参加させていただく機会に恵まれました。事前の練習では、本校ボート部員のみなさんによる丁寧な指導で、梅雨末期の蒸し暑い中ではありましたが、しっかりと声を出し、オールを漕ぐ手を合わせ、心を一つにしてボートを進めることの大切さを体験しました。大会当日は、本校・定時制、そして分校生徒が一つになって選手を応援し充実した大会となりました。

さて、高校生活ということで自分自身を思い返してみると、当時の私は日々自分自身の問題を解決していくことで精一杯でした。音大進学のための、ピアノや歌のレッスンでは先生から叱られてばかりで「どうやってこのピンチを回避していくか…」努力もしないでそんなことばかり考えていました。今思うと平和でのん気な高校生だったと思います。学ぶことを中断されることもなく、チャレンジしたいことには全集中で取り組みました。しかし、やりたいことを思いっきりやれる幸せを実感できていなかった残念な高校生だったと思います。

今、津島分校の生徒をはじめとする高校生たちは、このような我慢を強いられる状況の中、一人一人が持続可能な社会の担い手として自分がどのように行動するべきか、自分に何ができるかということを真剣に考えています。学校での学びを通してSDGs(持続可能な開発目標)の理念に基づき自分たちの地域課題を見つけたり、その解決のための方法を模索したりもしています。全員がグレタ・トゥンベリさんのように…とはいきませんが、それぞれの生徒たちが、社会の一員として責任を持って生きることを意識して学んでいるその姿は、残念な高校生だった私にとってとてもかっこよく見えます。そして何よりも今、当たり前のことを当たり前に行えるありがたさを、生徒たちと共に私も実感しながら pas à pas の精神で、ていねいに歩いていきたいと考えています